

ご案内



スキルアップ講習・第3回/テクニカル講座【2011 1th】

企画/開催
宮城県療術師協会

BRM療法-技術指導研修会 開催



驚きの効果！BRM療法！その真髄に迫る！

吉田邦夫先生を招いてのBRM療法-技術研修会を開催し、そのすべてを伝授いただきます。

昨年は全国8ヶ所で開催され、好評を博し、今年全国14会場にて開催されます。ご高齢の先生～女性～未テクニック～プロの先生迄幅広く使える療法です。この機会お見逃しなく驚異のテクニックを修得ください。

↑『図解 手を添えるだけで、骨のゆがみがなおる！』PHP刊
社団法人 静岡県療術師協会 会長 吉田 邦夫 先生著

☆ 《スキルアップ講習・第3回/テクニカル講座/ BRM療法 技術指導研修会》

- ・主 催：宮城県療術師協会
- ・対 象：各県療術協会会員および非会員（他団体・一般）
- ・会 場：エスポールみやぎ 地下1階大広間
宮城県仙台市宮城野区幸町4-5-1 ☎022-293-4631

～BRM技術研修会・宮城/日程（5回全課程修了）～

・時間：10：00～16：00（全課程）

- 第一回 2月27日（日）
- 第二回 4月24日（日）
- 第三回 5月29日（日）
- 第四回 6月26日（日）
- 第五回 7月31日（日）



宮城県療術師協会

会員の皆様へ

スキルアップ講習第3回／テクニカル講座
『BRM療法／技術指導研修会』実行委員長
宮城県療術師協会 会長 熱海 哲也

初春の頃、貴方様には、益々ご健祥の段お慶び申し上げます。

さて、このたび、宮城県にて吉田邦夫先生をお招きしBRM療法の技術指導研修会を開催する運びとなりました。昨年学会にて発表されました*1『超未熟児小頭症・脳性麻痺による運動機能障害の改善』（760gで出生、脳性麻痺により歩行不能と診断されていた4歳女児が初施術から半年後には手をつないで歩き始め、現在では自力でヨチヨチ歩きできるようになった事例です。）を可能にした頭蓋骨矯正をはじめ、BRM療法のすべての矯正法を伝授いただくものです。

すでに、一昨年からは、東北、北海道を除き、全国的に研修会が開催されています。一切力やスピードは必要とせず手を添えることで矯正していきます。即効性があり、しかも、誰にでも出来る高等テクニックと絶賛され、高齢で療術を引退しようかと思っていた先生がまた療術を始められたり、未熟練の先生方が目を輝かせ療術に熱心に励むようになったり、熟練の先生方々からもその技術力の高さに、目から鱗...という感動と感謝の嵐を巻き起こしています。（すでに療術会員に限らず、整骨、エステ、歯科医の先生方も始められております）

今年からは、全国14会場にて開催されます。東北も全国に遅れず、会員の技術向上と全員開業をスローガンに宮城県で開催を決意いたしました。皆さんもチャレンジしてください。

講師の静岡県療術師協会 会長 吉田邦夫先生も私達と同じ考えを持ち、善意に活動されています。

「口頭発表(*1)で紹介した事例は私だから出来たことではありません。誰でも出来るようになるのです。出来るようになるまでご指導するつもりです。」(吉田先生からのメッセージ一文です)

「夢かもしれない。でも夢だったら醒めないで欲しい」生涯車椅子と宣告された子供さんが、初めて立ちやがて歩み出したとき、悲嘆に暮れていた親御さんが歓喜に満ち語ってくれた言葉だそうです。

誰にでもBRM療法は出来ます。そしてまた、私達も、不可能を可能にしてあげましょう。

是非、みなさまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしております。

(皆さんの活躍(力)が、療術をメジャーにし法制化への推進力になると期待しています)

宮城県療術師協会BRM療法研修会スケジュール

第一回 平成23年2月27日（日）

BRM療法に要する解剖学

実技 ・ 検査方法
・ 骨格バランス基本調整
・ 側彎、後彎調整

対症 腰痛、坐骨神経痛、膝痛、過呼吸症、肩こり、頸腕神経症、ムチ打ち、他
個別治療相談・個別指導

第二回 平成23年4月24日（日）

BRM療法に要する解剖学

実技 ・ 股関節調整
・ 膝関節調整
・ 足関節調整

対症 股関節・膝関節障害、坐骨神経痛、ギックリ腰、捻挫、踵骨痛、扁平足他
個別治療相談・個別指導

第三回 平成23年 5月29日（日）

BRM療法に要する解剖学

実技 ・ 肩関節調整
・ 肘関節調整
・ 手関節調整
・ 肋骨調整

対症 テニス肘、野球肘、腱鞘炎、手根管症候群、ばね指、四十肩、肩コリ、他
個別治療相談・個別指導

第四回 平成23年6月26日（日）

BRM療法に要する解剖学

実技 ・ 頭蓋骨調整
・ 頸椎調整

対症 脳神経由来症状
・ 頭痛、めまい、耳鳴り、視力低下、難聴、顎関節症、水頭症、自閉症、
神経症、他
個別治療相談・指導

第五回 ・ 総合編平成23年7月31日（日）

第一期 ・ 総集編

*進行状況により内容が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

*患者モデル希望者を募集します（全身全ての症状、何処でも構いません）

*研修会の服装について

- ・ モデル患者含め研修時は柔らかい半ズボンとゆったりした上衣を全員ご持参下さい。
- ・ Gパンは禁止。

第一回 平成23年2月27日(日)

10:00～11:00 オリエンテーション

BRM療法とは何か
開発経緯と全国への展開
BRM療法の特長

11:00～12:00 モデル患者希望者施療(慢性・急性・疾患部位を問わず)

実技研修

13:00～14:00 講義

骨盤バランス矯正の意義について
不良バランスが原因となる症状について

14:10～15:00 実技

骨盤～腰椎側彎の治し方
二人一組で実技指導

15:10～16:00 実技

1 BRM療法とは何か

脳脊髄液循環サイクルは全ての骨膜膜伝動を通じて全身に波及している。

骨の微量な律動を妨げない程度の圧で接触することにより、全身でリズムを把握することができる。

BRMとはBone Rhythm Momentから命名した。

2 BRM療法の特長

- 1 ソフトな療法でありながら、極めて顕著な矯正効果が即時確認できる。
- 2 難治性と言われる脳神経由来疾患を直接的に改善する。
- 3 BRM療法は優れた検査手段であると同時に極めて優れた矯正手技である。

3施療の基本

- 1 発症には必ず根本的原因がある。
単一原因だけでは発症に至らない。
根本原因は潜在化しているものを含め必ず3か所存在する。
- 2 治し方を考える前に原因を考えること

*詳しい資料は(BRMによる治験例および参考資料)は宮療協BRM事務局または各県療事務局へご連絡ください。(送料・コピー代負担)

*申込者へは、無料で送付いたします。

《技術研修会費用》

◇療協会員：13,000円(1回につき)

◇非会員(他団体・一般)：28,000円(1回につき)

内訳：吉田先生への技術指導料 10,000円
参加費 2,000円
昼食代 1,000円

内訳：吉田先生への技術指導料 25,000円
参加費 2,000円
昼食代 1,000円

*参加費は、会場費や通信費の一部に当てます。不足分およびその他の一切の経費は宮療協で負担いたします。

***患者モデル希望者
を募集します**

**全身全ての症状、
何処でも構いません**

**ご希望の方は
お早めに、事務局へ
連絡ください。**

申込・問合せ・資料請求先：宮城県療術師協会

BRM-MIYAGI 事務局 山形 忠弘

☎080-6023-3725 FAX 022-223-3577

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2-14-22

振込先：宮城県療術師協会 郵便振替 02250-7-13855

申込締切：2月5日迄お願いいたします。

超未熟児小頭症・脳性麻痺による運動機能障害の改善

社団法人 静岡県療術師協会

吉 田 邦 夫

(目的)

先天性疾患と闘う乳幼児の付随的症狀の改善に取り組んでいる。

脳の器質変性による疾患を改善することは最新医学に委ねる他ないが、先天性疾患を持つ乳幼児に共通する著しい頭蓋骨変位の施療により、随伴症狀のきわめて大きな改善効果を上げた症例と経過を報告し、療術施療の向上に供したい。

(症例)

女性 4歳

超未熟児(760g)で出生し、頭蓋骨早期癒合による斜頭小頭症・脳性麻痺と診断された。

来院時の状況は次の通りである。

①未熟児網膜症治療により両眼斜視 ②発語発達遅滞。単語のみ ③ハイハイ・立位・歩行等の運動不能 ④尿意・便意がなくオムツ・指しゃぶり ⑤自閉症的多動性

(施療)

2009年12月から2010年5月まで骨動リズムにより次の通り計6回施療した。

- 第1回 頭蓋骨変位を矯正の準備として冠状、鱗状、ラムダの各縫合の固着を解放し内方変位の後頭骨、側頭骨を施療。
- 第2回 ラムダ縫合固着解放後、左に偏向している後頭骨を正中に誘導施療。
鱗状縫合固着解放後、内方変位の側頭骨矯正。
- 第3回 側頭骨、後頭骨矯正継続。
蝶形骨変位への施療開始。
外旋位にある大腿骨を内旋方向へ誘導施療。
自然彎曲形成遅滞の改善を目的に、寛骨、仙骨(腰仙角)誘導施療。
足関節内反矯正施療。
- 第4回 腸骨、仙骨後屈を矯正し脊柱後彎調整施療。
頭蓋骨調整継続。
- 第5回 陥凹していた右側頭骨後頭骨冠状縫合部が正常方向へ回復の兆し。
- 第6回 寛骨、仙骨、腰椎及び骨格全体バランスの基本矯正継続。
- 第6回 総合矯正。

(結果)

深刻かつ複数の障害が次の通り大きく改善され、現在では不安定ながらも歩行可能となった。ご両親から「同様な疾患に苦しむ子供と親の為にこの改善例を紹介して欲しい」という要望があり、施療毎の改善経緯を報告する。

- 第1回 母親は、第三者に対する自閉的拒絶を懸念したが、頭蓋骨矯正開始と同時にリラックス。頬に赤みが差し、ニコニコと穏やかになった。

施療するため頭に添えた手を離そうとすると、自分の手で私の手を掴み継続を求める。

以前は腺病質的に泣く事が多かったが、施療後にご機嫌な笑顔、おしゃべり(単語)が急増する。

第2回 顔面頭蓋のバランスが大きく改善。

四つん這いに成功後、初めて自力で脊柱を起立させ膝立ちに成功。

生まれて初めての姿勢にあふれる笑顔。

第3回 孫の顔表情の変化(可愛い)に祖父と祖母が驚嘆。

言葉は連語となり、お喋り急増する。

つかまり立ちが出来ようになった。

両手を差し伸べると手をつないで立ち上がる意志を示し、不安定ながらも数秒間立位が可能となる。

第4回 『信じ難い程の劇的な変化の連続に両親ともただ驚きあるのみ』

つかまり立ちに続いて、壁の伝い歩き、初めてデパート内を手つなぎ歩行。会話は連語となる。

第5回 よちよち歩きに成功。接続語が加わり連続語で対話形式になる。優しい女兒らしい表情に変化。

尿意を訴え、トイレで初めて排尿・排便に成功。

第6回 さ行幼児発音から普通発音に進歩し、言葉が明瞭になる。

初めて芝生を歩行、嬉しさのあまり突然小走りをして転倒、右鎖骨骨折。

数日間は気分沈滞していたが、すぐに運動意欲と自信ある表情が蘇る。

骨折というアクシデントは起こったが、歩くことも諦めていた両親は、将来を考えれば極めて前向きな成長であると喜んでいる。

(総括)

新生児に重大な先天性疾患が発見された場合、随伴症状も含めて一括的に治癒不能と受け入れ、母親は涙ぐましい努力と忍耐の日々をおくる。

この症例の他、筋ジストロフィー(3例)、テンカン(2例)、ダウン症(3例)、水頭症による視力障害(2例)、自閉症(17例)等の改善事例がある。

これらの乳幼児には、頭蓋骨早期癒合による脳頭蓋、顔面頭蓋の著しい変形が存在する。後頭骨、側頭骨の陥凹変位が脳発育を妨げることから頭蓋骨拡張術が行われている観点から、私は頭蓋骨矯正施療には大きな意義があると考えている。

不治と諦めている運動障害の中には事例のように随伴症状が数多く存在しておりこれらの改善に一層の研鑽を重ねて行く所存である。

参加申込書

☆ 《スキルアップ講習・第3回/テクニカル講座/ BRM療法 技術指導研修会》

・会 場：エスポールみやぎ 地下1階大広間

＊必要事項記入のうえ郵送またはFAXにて至急申込みください。

＊各所□に印を付けてください

療協会員 [所属協会名：

財)認定会員 準会員]

非会員 [職種：

紹介者：

所属団体名：

フリガナ

氏

男

生

年

月

日生

名

女

年

月

日

住 丁

所

連絡先

＊確実に連絡の出来るところ。☎・携帯

F
A
X

メ ＊必須ではありません。

ル 携
帯

P
C

◆BRM技術研修会・宮城 参加日

＊参加希望日に印を付けてください

全課程出席

第一回 2月27日(日)のみ

第二回 4月24日(日)のみ

第三回 5月29日(日)のみ

第四回 6月26日(日)のみ

第五回 7月31日(日)のみ

◆研修費の納入方法

＊各方法に印を付けてください

振込み 当日

一括 ・会 員：65,000円

・非会員：140,000円

毎回ごと ・会 員：13,000円

・非会員：28,000円

その他 ()

◆当日モデルを希望される方(全身全ての症状、何処でも構いません)

・希望される方のお名前と年齢、症状を記入してください。書面がたりない場合は別紙にて。

申込・問合せ先：宮城県療術師協会 BRM-MIYAGI 事務局 山形 忠弘
〒980-0804宮城県仙台市青葉区大町 2-14-22

☎080-6023-3725 FAX022-223-3577

振込先：宮城県療術師協会 郵便振替 02250-7-13855